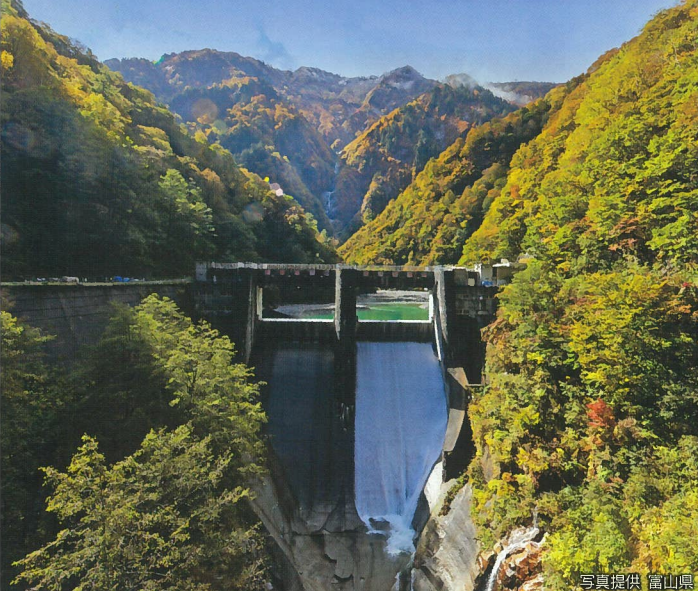


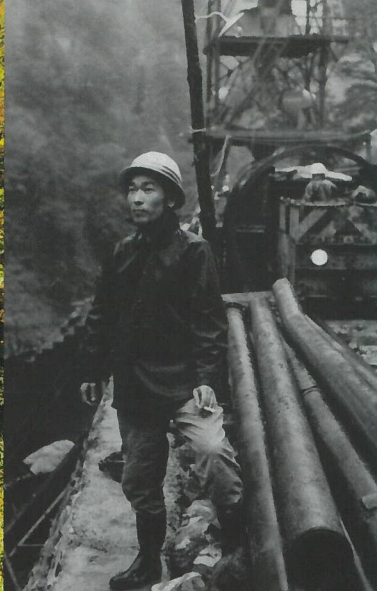
令和4年度企画展

吉村昭「高熱隧道」

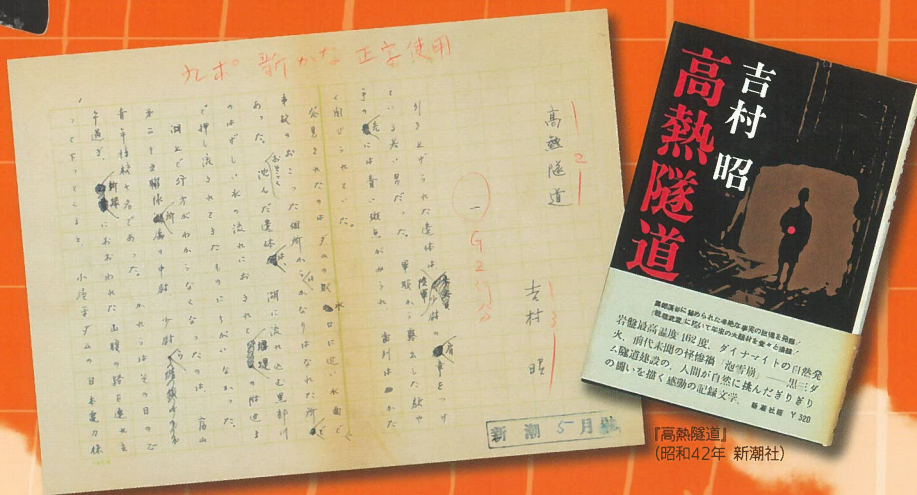
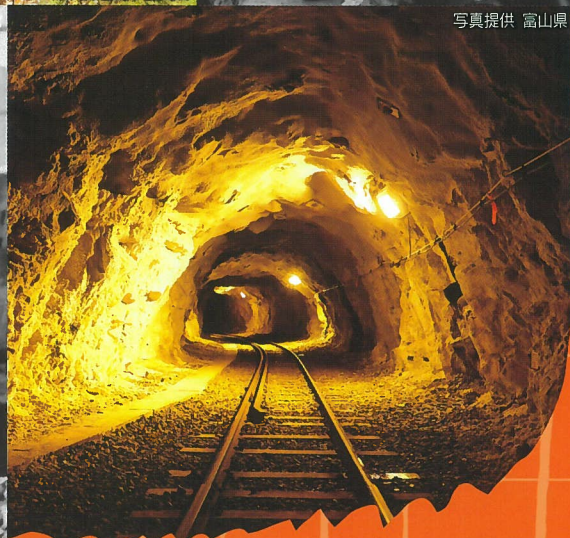
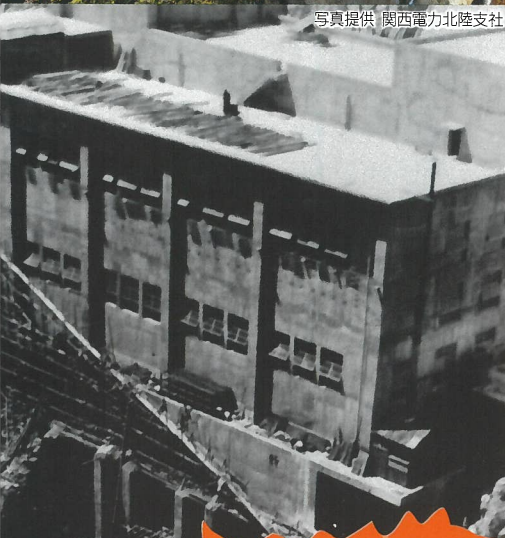
黒部の難工事を描く



写真提供 関西電力北陸支社



写真提供 富山県



令和4年

10月21日金 → 12月21日水

開館時間：9時～20時30分 休館日：11月17日(木)・12月2日(金)・15日(木) 入館料：無料
会場：ゆいの森あらかわ 3階 企画展示室

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、開催日時等を変更する可能性があります。

詳細は
こちら

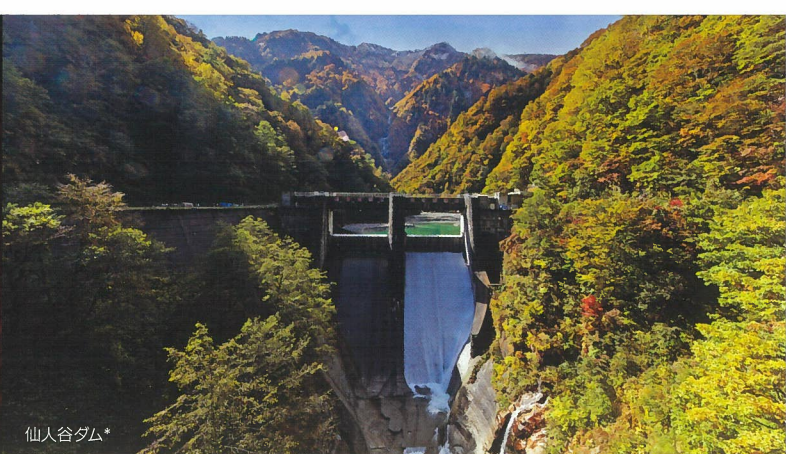


吉村昭記念文学館

写真提供 関西電力北陸支社



高熱隧道*



仙人谷ダム*

*写真提供 富山県

令和4年度企画展 吉村昭「高熱隧道」

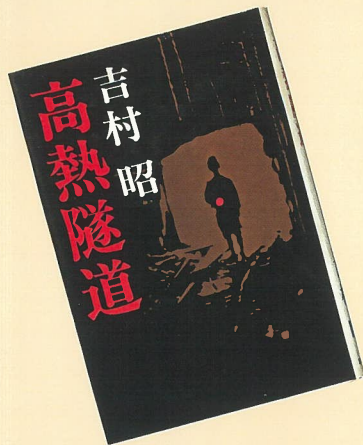
「黒部の難工事を描く」

このたび吉村昭記念文学館では、令和4年度企画展「吉村昭「高熱隧道」―黒部の難工事を描く―」を開催いたします。

昭和42年（1967）発表の「高熱隧道」は、富山県にある黒部川第三発電所・仙人谷ダムの歴史に残る難工事を描いた長篇小説です。昭和32年ころ、「水の葬列」を執筆するため、建設中の黒部川第四発電所・黒部ダムの工事現場を訪れた吉村は、第三発電所建設時に作られた熱気に包まれたトンネルに強い印象をいただきました。

昭和41年、「星への旅」で太宰治賞を受賞し、「戦艦武蔵」でベストセラー作家となった吉村は、小説家として大きな注目を集めます。「戦艦武蔵」を書き上げ、次に書きたいと思ったのは、ずっと心に残っていた黒部の高熱のトンネルでした。

本展示では、55年前に発表された「高熱隧道」に焦点を当て、取材・調査内容を記した自筆ノートをはじめ、執筆時の文献資料、建設中の黒部川第四発電所を訪れた際の写真などを紹介し、作品成立の過程をたどりまします。また黒部電源開発の歴史を追い、木本正次の小説「黒部の太陽」関連資料や、三船敏郎・石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」関連資料も展示します。



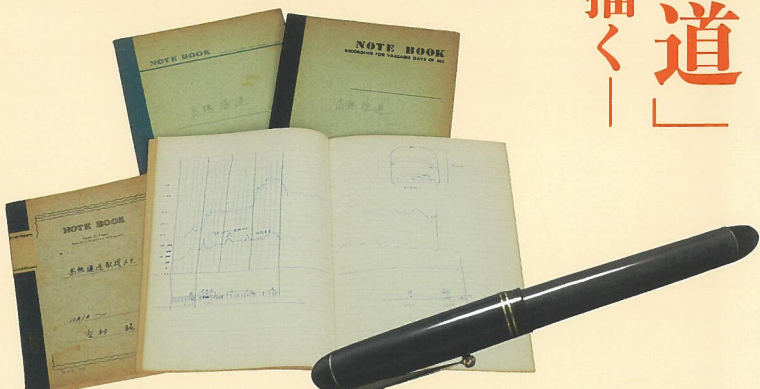
吉村昭「高熱隧道」(昭和42年 新潮社)



映画「黒部の太陽」ポスター
(豊川「黒部の太陽」の会蔵)



三船敏郎が映画「黒部の太陽」で着たジャケット
(豊川「黒部の太陽」の会蔵)



「高熱隧道」取材ノート
(津村節子氏寄託資料)

吉村昭の万年筆
(関西電力北陸支社蔵)

イベント情報

参加費無料

●講演会 「黒部ダムとダムの魅力」

講師：宮島咲氏

(ダムマニア&ダムライター)

日時：12月3日(土) 14時～(1時間程度)

会場：ゆいの森あらかわ 1階 ゆいの森ホール

定員：100名(応募多数の場合抽選となります。当選者のみ11月18日(金)までにはがきで通知します。)

応募期間：11月8日(火)まで



●上映会 「黒部の太陽」

日時：10月30日(日) 13時30分～17時
(上映時間196分、休憩あり)

会場：ゆいの森あらかわ 1階 ゆいの森ホール

定員：100名(申込順)

●ダムカード展 申込不要

「関東地方のダムカード大集合!!」

日時：10月21日(金)～12月28日(水)

会場：ゆいの森あらかわ 1階 エントランス

●クイズラリー 申込不要

「ひらめき探検! ゆいの森あらかわ」

日時：10月21日(金)～(先着150名)

会場：ゆいの森あらかわ

内容：館内のクイズに正解した方に(カフェ・ド・クリエ ゆいの森あらかわ店ドリンク50円引券)と(当館オリジナルグッズ)をプレゼント!

●イベント申し込み方法 10月11日(火)9時30分から、ゆいの森あらかわ1階総合受付、ゆいの森あらかわHP【<https://www.yuinomori.city.arakawa.tokyo.jp/>】、またはFAX【イベント名、氏名(2名まで)、代表者の郵便番号・住所・電話番号】でお申込みください。



〒116-0002 東京都荒川区荒川二丁目50番1号
(ゆいの森あらかわ内)
TEL.03-3891-4349 FAX.03-3802-4350
<https://www.yoshimurabungakukan.city.arakawa.tokyo.jp>

都電荒川線荒川二丁目(ゆいの森あらかわ前)下車徒歩1分
東京メトロ千代田線・京成線 町屋駅下車徒歩8分
コミュニティバスさくらゆいの森あらかわ下車(土日祝のみ)

吉村昭記念文学館

【ご来館の皆様へのお願い】体調がすぐれない場合はご来館をお控えください。館内ではマスクの着用、手指の消毒をお願いします。